

伝鎌倉街道

一九二二年に源頼朝によって鎌倉に幕府が開かれると、鎌倉は政治・経済の中心になりました。そのため、鎌倉幕府に従う武士たちの「いざ鎌倉」に備え、各道路網が整備されました。

この中で、鎌倉から東北地方に通じる「上道」「中道」「下道」と呼ばれる主要幹線道路が有名です。上道は長野や新潟へ、中道は東北地方へ、下道は千葉や茨城へ通じていました。瑞穂町に最も近いのは上道で、鎌倉から町田・府中を通り、狭山丘陵の東端（所沢）を掠め、入間川・高麗川・嵐山（菅谷）・寄居・児玉を通過して群馬に通じています。

また、これらから分岐する枝道や脇道も縦横に通じ、最終的には鎌倉に至ることから、当時「すべての道路が鎌倉に通じる」という状況が生まれました。

それゆえ、後世これらの道を「鎌倉街道（鎌倉道）」と称するようになりました。この道は、飯能から金子・栗原新田・狭山神社西脇から狭山池東岸・円福寺西脇を通り、杉山稲荷から箱根ヶ崎駅西を通過してここに至り、羽村駅方面へと続いています。地元では「鎌倉街道」と言い伝えられており、中世鎌倉街道の一つと推定されます。なお、箱根ヶ崎駅西側とエコパーク以西の道路は、土地区画整理によって消滅しました。

瑞穂町内ではこのほか、大日山遊歩道から六道庚申塚までの道も「鎌倉道」と地元では言い伝えられています。

平成二十年十月吉日

瑞穂町教育委員会

作品番号：41302292

作品タイトル：伝鎌倉街道解説板

作家：小川 喜一郎

キャプション：

コレクション：OPO

ソース：

撮影地：東京都 瑞穂町

撮影年月日：2018/7/24

学術名：

クレジット表記：(c)Artefactory

モデルリリース：なし

プロパティリリース：なし

ピクセル数：4608px × 3456px

印刷サイズ：33.4cm × 25.1cm

データサイズ：3.8MByte

ファイル形式：JPEG